



大野市 水のみえるまちづくり計画



平成18年3月



大野市

目次

I	水のみえるまちづくりの構想	1
1.	水のみえるまちづくりの必要性	1
2.	水のみえるまちづくりの基本理念	1
3.	水のみえるまちづくりの方針	2
	（1）湧水の保全と再生	2
	（2）市街地を流れる水路の整備と活用	2
	（3）市街地内河川等の環境整備	2
	（4）水の文化の保全と継承	2
II	水のみえるまちづくりの計画	3
1.	計画の方針	3
2.	ゾーン設定	3
3.	整備計画総括表	4
4.	ゾーン別整備計画	4
5.	水源の確保	10
6.	整備計画	11
7.	水源確保に係る概算事業費	18
8.	整備課題	19
III	実現のために	20
1.	地域住民と市の協働体制の確立	20
2.	水のみえるまちづくり基金の創設	20
3.	ソフト施策の展開	20
資料編	21	
■	計画策定経過	22
■	市街地水利機構図	24
■	市民アンケート結果の概要	25
■	市民意見募集結果の概要	32



I 水のみえるまちづくりの構想

1. 水のみえる街づくりの必要性
2. 水のみえるまちづくりの基本理念

1. 水のみえるまちづくりの必要性

- 大野市の「水」は、大野の人びとにとって、生活や都市文化の基層をなしています。
- 城下町の歴史と文化に「水」がプラスされることにより、大野の個性を形成しています。
- しかし、市民は「水」の衰退により大野らしさを失いつつあると考えています。

2. 水のみえるまちづくりの基本理念

『水と人を結ぶ想いやきずな、水がとりもつ人の交わり』を
テーマとして、限られた水資源を有効に利用しつつ、
「名水のまち大野」の文化や歴史、風土に根ざした
「水のみえるまちづくり」を目指します。



3. 水のみえるまちづくりの方針

(1) 湧水の保全と再生

- 「大野市地下水保全管理計画」と連携し、代表的な湧水について形態の復元を検討します。
- 補助水源として、貯水池など適切な方法を検討します。

(2) 市街地を流れる水路の整備と活用

- 地域住民と協力し、市街地内水路の環境用水、流雪溝利用など多面的な活用を促進します。
- 現況水源の有効活用を図るとともに、不足する分については市街地内河川を流れる流水利用などの可能性を検討します。
- 背割り水路については、環境用水機能や流れを感じられる整備を図ります。

(3) 市街地内河川等の環境整備

- 親水性の向上や緑化を考慮した整備を図ります。
- 水質向上を図るため、下水道整備を促進するとともに、市民のゴミ捨て防止への意識啓発を図ります。
- 子どもたちが水と遊べる場、水を五感で感じられる環境づくりを図ります。

(4) 水の文化の保全と継承

- 歴史的な生活と水の関わりについて資料を収集し公開します。(大野市歴史博物館、本願清水イトヨの里等)
- 水を使った食品など、暮らしにとけ込んだ水の文化の育成、継承に努めます



Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

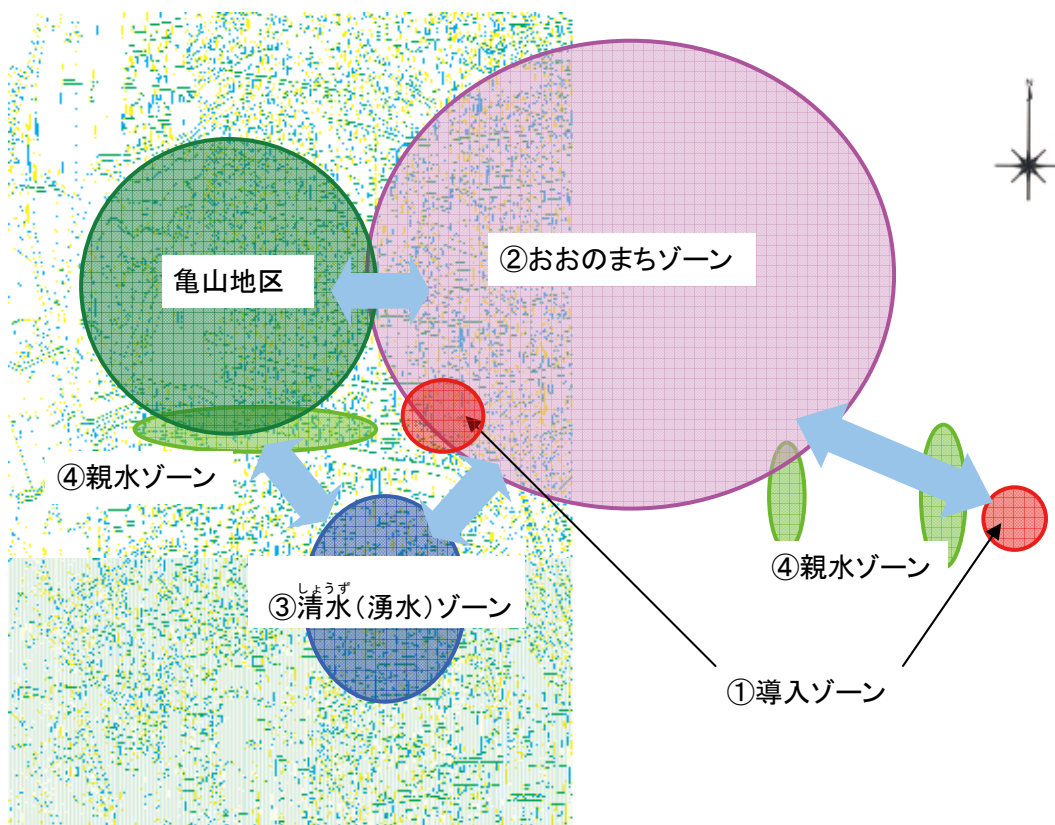
1. 計画の方針
2. ゾーン設定

1. 計画の方針

- 2つの主要エリア（亀山周辺と商店街）と交通拠点（越前大野駅、（仮称）シティーゲート）を結びます。
- 水の多様な魅力を歩いて体感できるようなまちづくりを目指します。
- 現況水資源の有効利用を図りながら、長期的には新規水利権の確保などにより、「水のみえるまち」の復活・発展を目指します。
- 優先度、事業費、技術的課題等を考慮して整備プログラムを検討します。

2. ゾーン設定

- | | |
|---------------------|-------------|
| ■ まちの出入り口部分 | →①導入ゾーン |
| ■ にぎわい、歴史、暮らし（旧城下町） | →②おおのまちゾーン |
| ■ 水の文化 | →③清水（湧水）ゾーン |
| ■ その他（うるおいのある生活環境） | →④親水ゾーン |



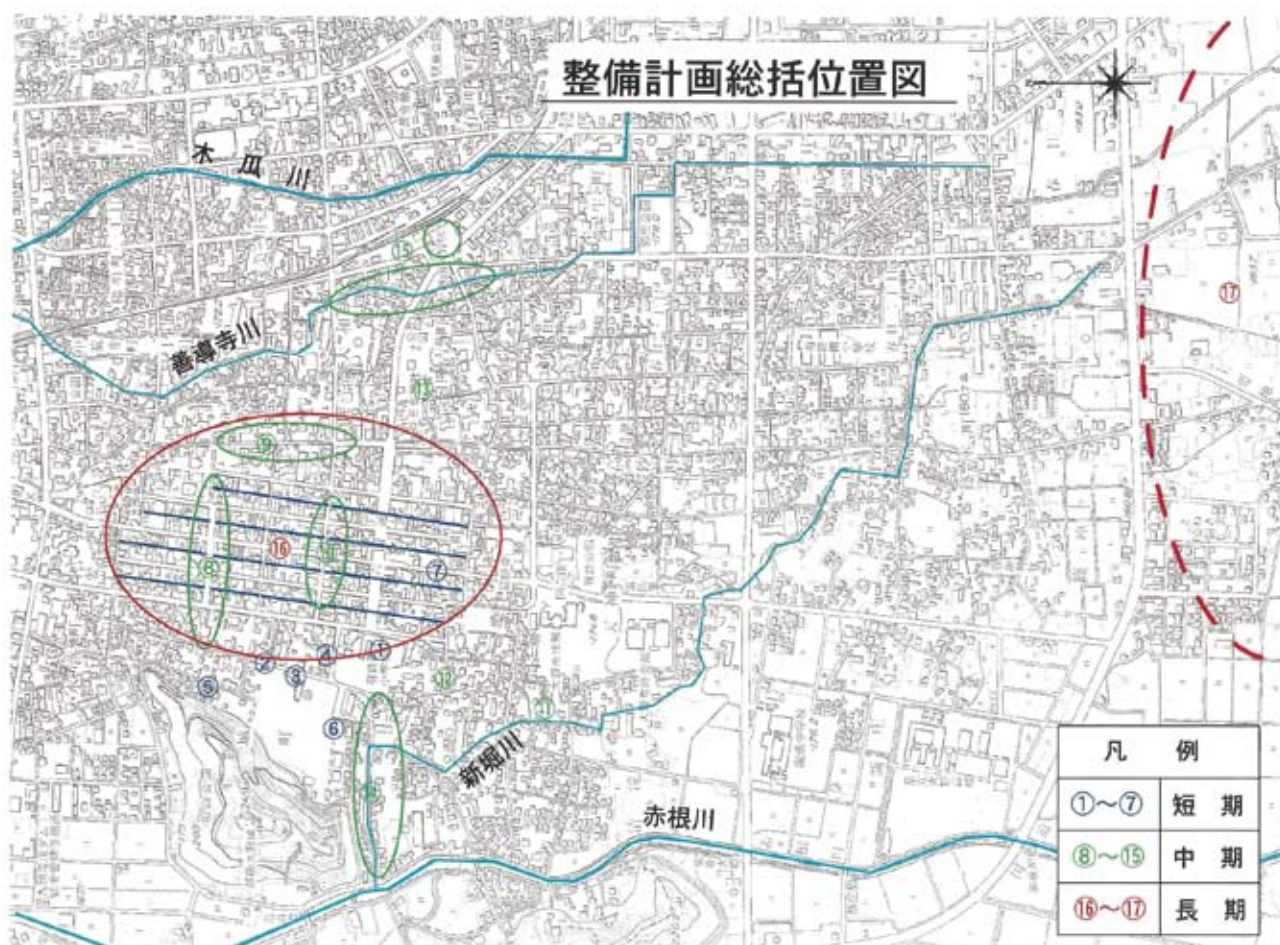
Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

3. 整備計画総括表 (水のみえるまちの将来像)

3. 整備計画総括表 (水のみえるまちの将来像)

現況水資源の有効利用を図りながら、長期的には水源の安定的確保を視野に入れた対策を行い、図のような水のみえるまちの実現を目指します。

No.	名 称	時期	No.	名 称	時期
1	(仮称)シティーゲート	短期	10	七間通り	中期
2	柳町通り水路		11	義景墓所湧水池	
3	百間堀周辺		12	御清水周辺	
4	旧内山家周辺背割り水路		13	山王池	
5	田村家周辺水路		14	新堀川周辺	
6	お厩池		15	越前大野駅・善導寺川周辺	
7	背割り水路		16	市街地内水路の開渠化	
8	石灯籠通り	17	市街地南部地域に貯水池 パイプラインの整備		
9	寺町通り	中期			



4. ゾーン別整備計画

ゾーン別の整備方針と整備イメージ例を以下に示します。具体的な整備内容は、今後の検討過程で地域住民の参加やコンペの実施などにより、協議、決定されることとなります。

①導入ゾーン

- まちへの導入部として、「水」のまちを象徴するしかけづくりを行います。
- 整備箇所は、越前大野駅前と(仮称)シティーゲートを対象とします。
- 越前大野駅については、駅前広場に水を象徴する要素を取り込みます。
- (仮称)シティーゲートについては、整備計画と合わせて検討します。

越前大野駅前

●現 況



●整備イメージ例



- ・整備方向＝まちへの導入部であり、「水」のまちを象徴するしかけづくりを行います。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水とのふれあい」が求められています。
- ・水 源＝河川水などを利用します。

②おおのまちゾーン

- 多様な大野のまちを対象とするため、特性にあった整備を地域住民と協働して進めます。
- 商店街ではにぎわいや歴史的環境にマッチした水の演出を行います。
- 歴史的まちなみの区域ではまちなみや緑に調和した水の演出を行います。背割り水路に水を感じられる水源の確保を図ります。

寺町通り

●現

況

●整備イメージ例



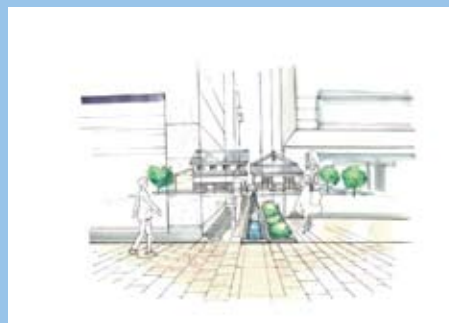
- ・整備方向＝歴史的環境にマッチした水の演出として、通りの湧水スポットを整備します。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水量、水音、景観」が求められています。
- ・水 源＝地下水を利用します。

背割り水路

●現

況

●整備イメージ例



- ・整備方向＝背割り水路とその沿線に広がる通り抜け空間と一体となった整備を図り、目に見える水の演出を行います。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水量、水質」が求められています。
- ・水 源＝既存の河川水などを利用します。

柳町通り水路

●現 況



●整備イメージ例



- ・整備方向＝歴史的環境にマッチした目に見える水の演出を行います。
- ・住民意向＝アンケート調査では「水量」が求められています。
- ・水 源＝地下水（循環利用）などを利用します。

旧内山家周辺背割り水路

●現 況



●整備イメージ例



- ・整備方向＝歴史的環境にマッチした水路の整備により、目に見える水の演出を行います。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水量」が求められています。
- ・水 源＝地下水（循環利用）などを利用します。

しょうず
③ 清水（湧水）ゾーン

- 湧水の再生について検討します。
- 御清水、義景清水などのスポットだけでなく地域一体としての環境整備を地域住民と協働して図っていきます。
- 湧水池などの親水性を高め、水を五感で感じられるような整備内容を検討します。

御清水周辺地区の整備

● 現 況



● 整備イメージ例



- ・ 整備方向＝地域一体としての環境整備を図り、親水性を高め水を五感で感じられる空間をつくります。
- ・ 住民意向＝アンケート調査では「水とのふれあい、水量」が求められています。
- ・ 水 源＝表流水などを利用します。

義景墓所南側湧水池

● 現 況



● 整備イメージ例



- ・ 整備方向＝地域一体としての環境整備を図り、親水性を高め、水を五感で感じられる空間をつくります。
- ・ 住民意向＝アンケート調査では、「景観、親水」が求められています。
- ・ 水 源＝表流水などを利用します。

④親水ゾーン

- 沿線の緑化や親水護岸整備などにより、修景と親水性の向上を図り、市街地内のう
るおい空間を創ります。
- ゴミ捨て防止キャンペーンを行うなど啓発活動を促進します。
- 短期的にはスクリーン設置でゴミを除去することも検討します。
- 新堀川周辺については、「大野市街なみ環境整備事業」と整合を取りながら環境及び
修景整備を行います。

善導寺川

●現 況



●整備イメージ例



- ・整備方向＝修景と親水性の向上を図ります。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水量、水質」が求められています。
- ・水 源＝河川水を利用します。

山王池

●現 況



●整備イメージ例

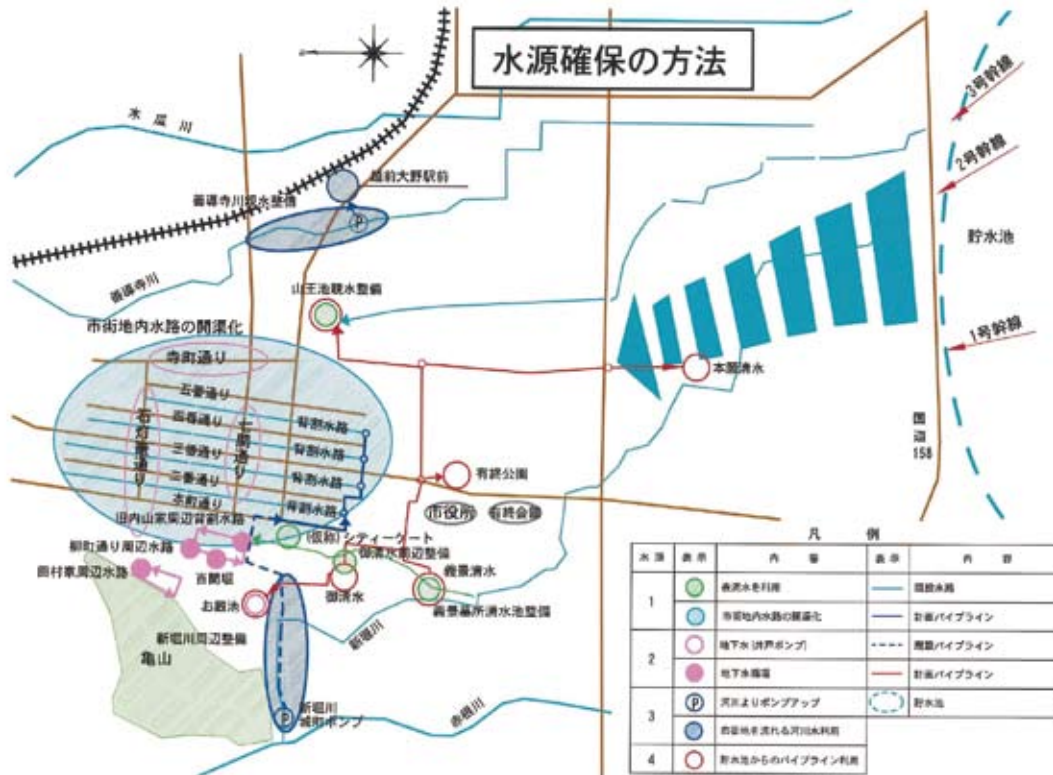


- ・整備方向＝修景と親水性の向上を図ります。
- ・住民意向＝アンケート調査では、「水質、景観」が求められています。
- ・水 源＝表流水などを利用します。

5.水源の確保

水源の確保については、水源の確保に努めつつ、当面次の4つの方法の適用を検討します。

1. 表流水利用
まちなかの水路や流雪溝等に流れている流水を利用します。
2. 地下水利用
「大野市地下水保全管理計画」と整合を図りながら市街地の地下水を利用します。
3. 市街地を流れる河川水のポンプアップ利用
善導寺川や新堀川などを流れる河川水をポンプアップし、導水します。
4. 貯水池からパイプラインの利用（自然流下）
市街地南部に貯水池を建設し、整備箇所へパイプラインを引いて導水します。



6. 整備計画

計画の展開を考慮し、概ね次の3期に分けます。

■ 整備期間

区 分	期 間 の 目 安
① 短 期	概 ね 5 年 以 内
② 中 期	概 ね 10 年 以 内
③ 長 期	最 終 の 目 標 (将 来 像)

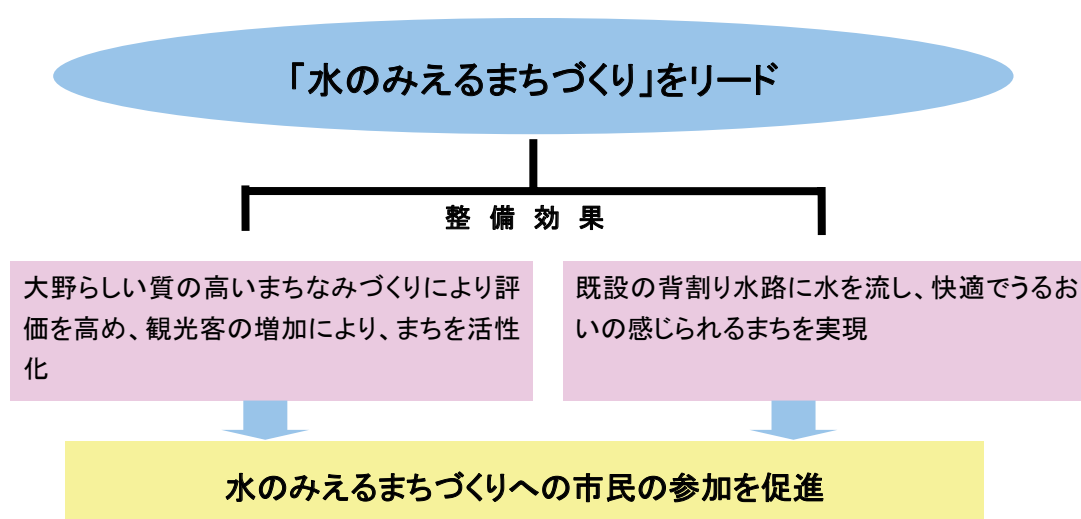


① 短期

プロセス 1

概ね5年以内を期間とする短期では、代表的な観光資源と生活環境施設の整備を行い、「水のみえるまちづくり」をリードします。

市民の皆さんにこの事業の必要性を認識いただき、次のステップに進める契機と考えます。

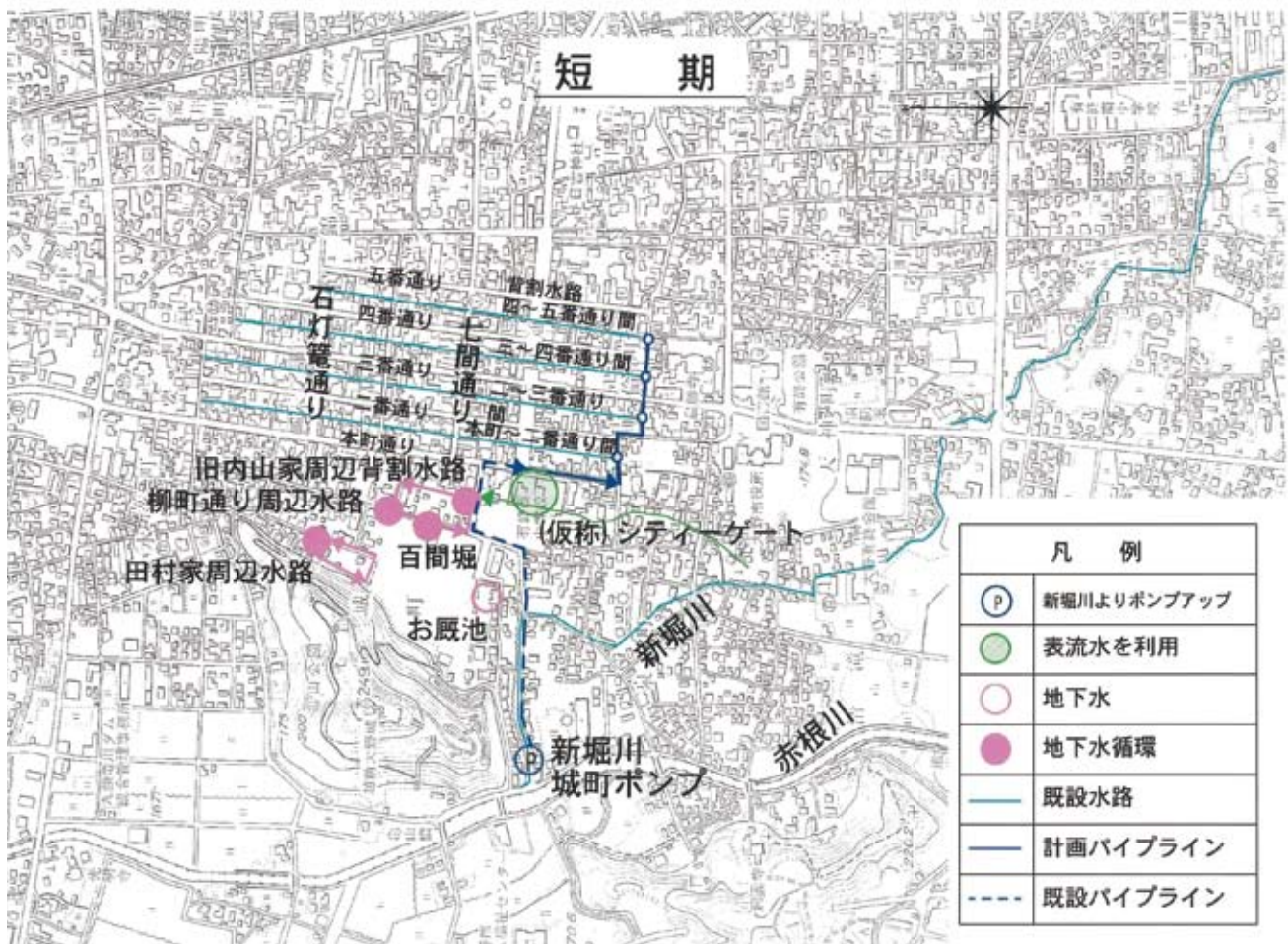


整備箇所	整備内容	期待される効果
(仮称) シティーゲート	背割り水路(中野用水)を整備し活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 親水空間を提供します。 まちのイメージアップが図られます。
柳町通り水路 百間堀周辺 旧内山家周辺背割り水路 田村家周辺水路	地下水の循環利用などにより水路を整備します。	<ul style="list-style-type: none"> 質の高いまちなみを形成します。 まちのイメージアップが図られます。 観光客の増加が図られます。
お厩池	地下水を汲み上げにより利用します。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的環境が向上します。 観光客の増加が図られます。
背割り水路	新堀川からポンプアップ、あるいは上流からの表流水などにより、既設水路へ水を流します。	<ul style="list-style-type: none"> 快適な生活環境が形成されます。 水のまちの重要性が再認識されます。

Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

6. 整備計画

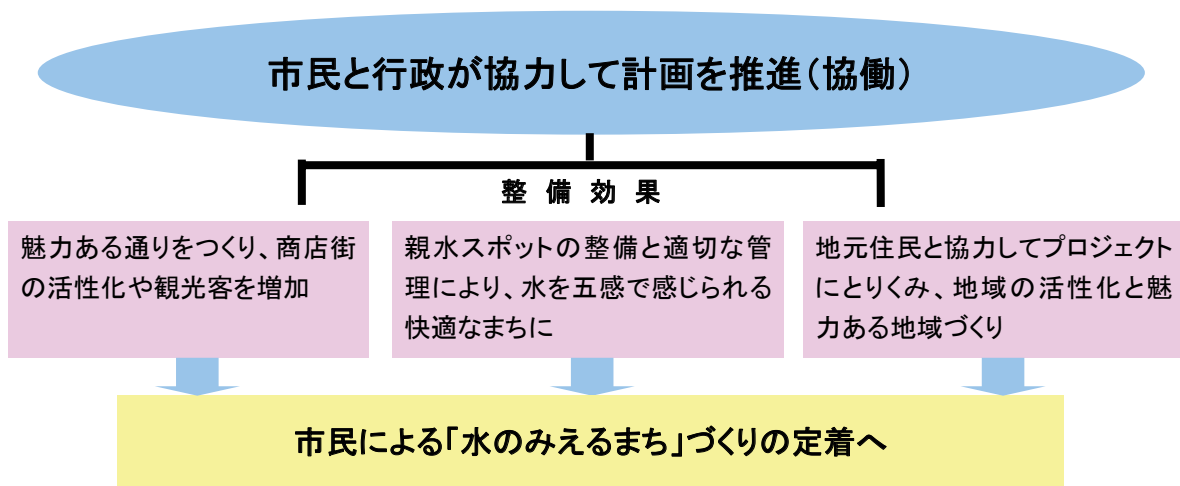
ゾーン	①導入ゾーン	②おおのまちゾーン	③清水ゾーン <small>しょうず</small>	④親水ゾーン
整備箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)シティーゲート 	<ul style="list-style-type: none"> ・柳町通り水路 ・百間堀周辺 ・旧内山家周辺背割り水路 ・田村家周辺水路 ・お厩池 ・背割り水路 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・新堀川環境整備



② 中期

プロセス2

中期では、市民が地域ごとに水のみえるまちづくりの推進を図るために、地域住民と行政が協働して計画を進める段階となります。

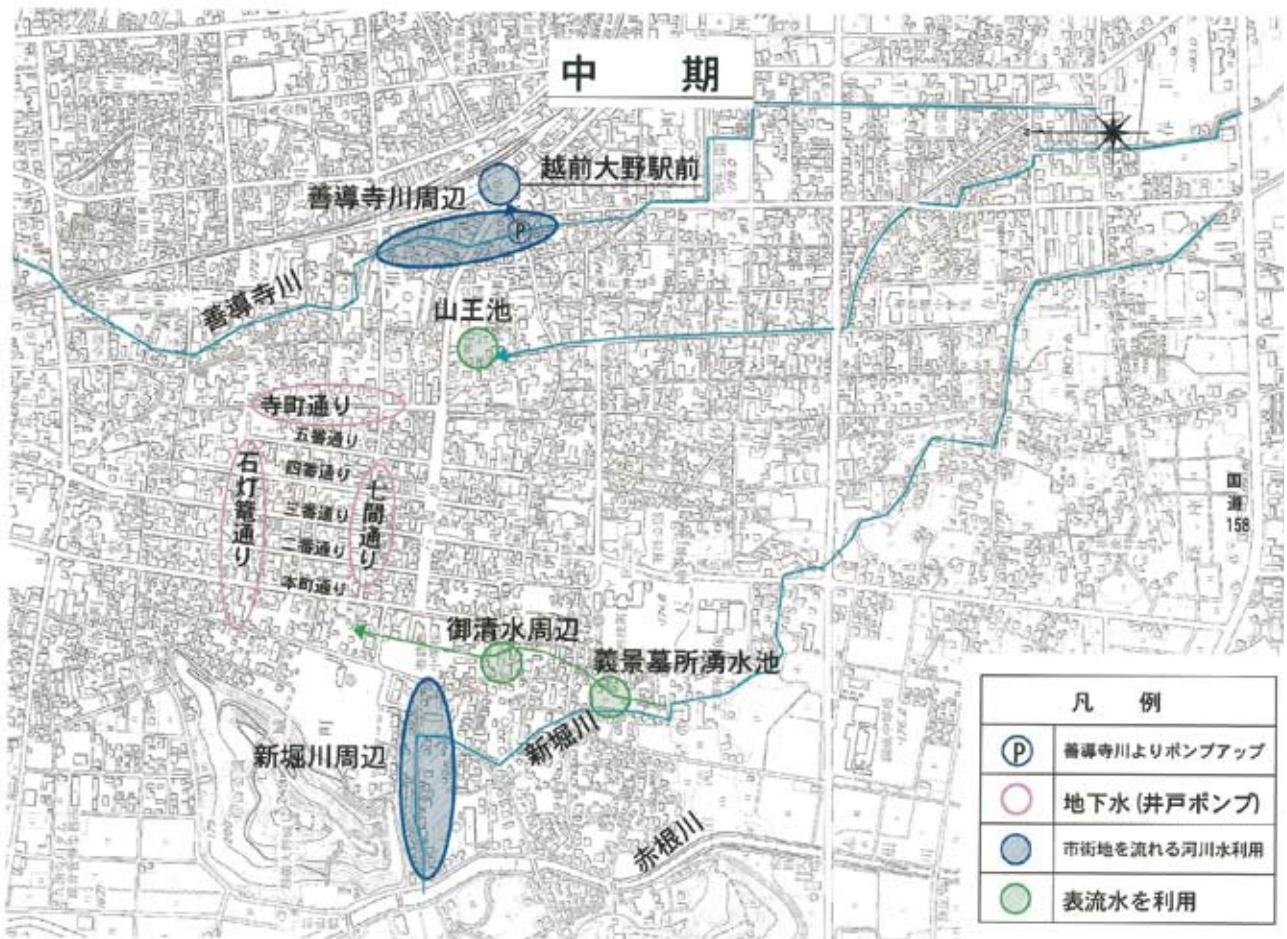


整備箇所	整備内容	期待される効果
石灯笼通り 寺町通り 七間通り	地下水くみ上げによる水飲み場等を設置、部分的な背割り水路空間の修景化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化が図られます。 ・観光客の増加が図られます。
義景墓所湧水池 御清水周辺	用水と一体となった修景整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化が図られます。 ・生活環境の快適性が向上します。
山王池	既設流雪溝の表流水などを利用し修景整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化が図られます。 ・生活環境の快適性が向上します。
新堀川周辺	新堀川の環境・修景整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化が図られます。 ・生活環境の快適性が向上します。
越前大野駅前 善導寺川周辺	善導寺川からのポンプアップなどにより水を流し、修景整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化が図られます。 ・生活環境の快適性が向上します。

Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

6. 整備計画

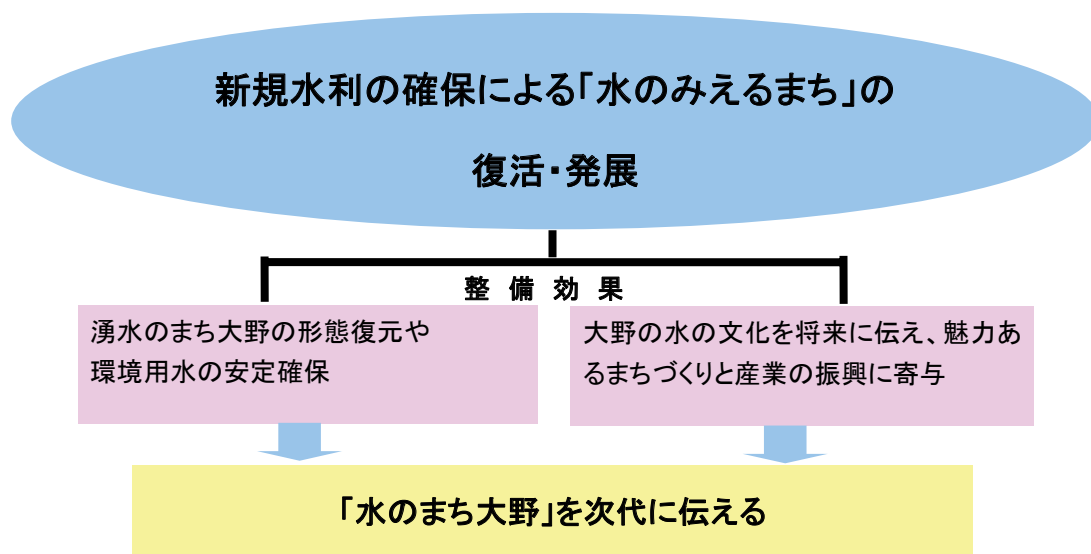
ゾーン	①導入ゾーン	②おおのまちゾーン	③清水ゾーン <small>しょうず</small>	④親水ゾーン
整備箇所	・越前大野駅前	・石灯笼通り ・寺町通り ・七間通り	・義景墓所湧水池 ・御清水周辺	・山王池 ・新堀川周辺 ・善導寺川周辺



③ 長期

プロセス3

長期では、「水のみえるまちづくり」の定着を図るため、安定的な水源の確保を図ります。このため、貯水池の整備など新規水源の確保に努め、「水のみえるまち」の復活・発展を目指します。

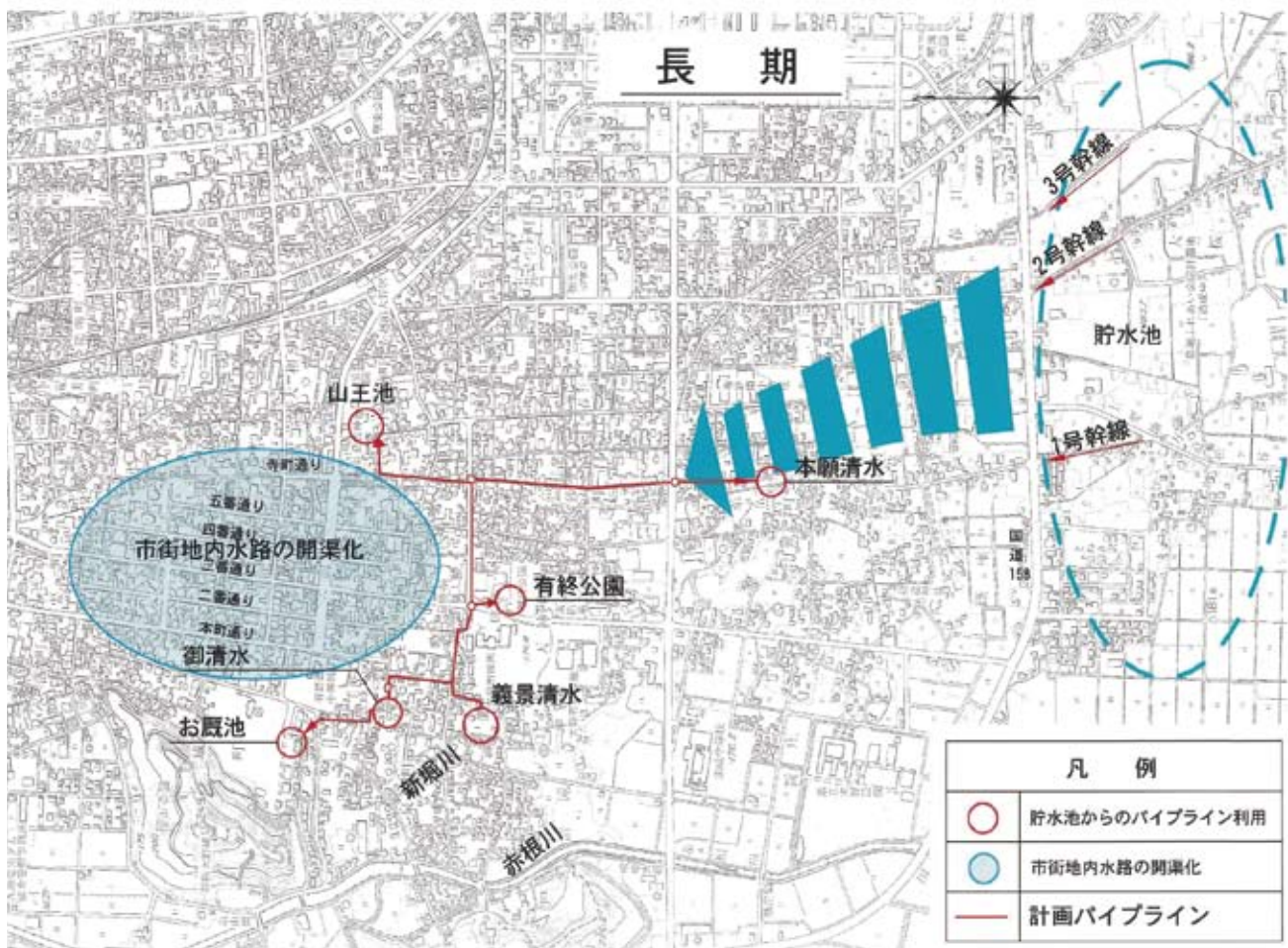


整備箇所	整備内容	期待される効果
市街地内水路	暗渠となっている市街地内水路の開渠化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 魅力あるまちづくりが促進されます。 商店街の活性化が図られます。 観光客の増加が図られます。
本願清水 御清水 お厩池 義景清水 (山王池) (有終公園)	市街地南部に貯水池を設け、水をパイプラインを通じ、自然流下で配水します。	<ul style="list-style-type: none"> 安定的な水源が確保されます。 水の文化の伝承が図られます。 魅力あるまちづくりが促進されます。 産業の振興が図られます。

Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

6. 整備計画

ゾーン	①導入ゾーン	②おおのまちゾーン	③清水ゾーン <small>しょうず</small>	④親水ゾーン
整備箇所	—	・市街地内水路	・本願清水 ・御清水 ・お厩池 ・義景清水 ・(山王池) ・(有終公園)	—



Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

7. 水源確保に係る概算事業費

7.水源確保に係る概算事業費

水 源	対象施設	施設の概要	概算工事費 百万円	概算電気料 百万円/年
表流水利用	山王池	水量の配分計画により用水確保します。	—	—
	義景墓所南側湧水池			
	(仮称)シティーゲート			
地下水利用	田村家周辺水路	ポンプによりくみ上げ、パイプラインを通し地下水を循環させます。	30	0.6
	柳町通り水路			
	旧内山家周辺背割り水路			
	百間堀周辺	ポンプによりくみ上げます。	—	0.1
	お厩池			
石灯籠通り、寺町通り、七間通り	水飲み場でポンプによりくみ上げます。	—	—	
市街地を流れる河川水のポンプアップ利用	越前大野駅前	善導寺川より河川水をポンプによりくみ上げ、パイプラインを通し開水路へ流します。	30	1.5
	背割り水路(既設)	新堀川にある既設の城町ポンプから河川水をポンプによりくみ上げ、パイプラインを通し既設の背割り水路へ流します。	80	2.5
貯水池からパイプラインの利用	湧水の再生 (本願清水、御清水、義景清水、お厩池、(山王池)、(有終公園))	貯水池よりパイプラインを通して自然流下により湧水池等へ導水します。	250	—

- 注 1. 水源や施設内容は「整備内容」(12,14,16 ページ)で事例としてあげている方法に基づくものです。
2. 水路改修や修景施設等の整備費用は含みません。

Ⅱ 水のみえるまちづくりの計画

8. 整備課題

8. 整備課題

今後、計画を推進するためには次のような課題が考えられます。

① 市民の協力と地域住民の合意形成

項目	内容
市民の協力	・ソフト施策などを通して、水源地域を含むすべての市民の協力を求めていくことが必要です。
住民参加	・地域住民参加による計画の策定、合意形成が必要です。
維持管理	・住民参加による維持管理体制を図っていくことが必要です。

② 水源の確保

項目	内容
表流水利用	・適正な水量の配分管理が必要です。
地下水利用	・「大野市地下水保全管理計画」との整合を図っていく必要があります。 ・循環式の場合、施設の更新費の負担が必要となります。 ・維持管理費の負担が必要となります。
市街地を流れる河川水の利用	・水利権調整が必要となります。 ・水質確保が必要となります。 ・施設の更新及びポンプ等の維持管理費の負担が必要となります。
貯水池、 パイプライン	・工事費が高くなります。(補助事業の検討が必要となります。) ・貯水池として適地の選定が必要となります。 ・貯水池の流入水の確保と水権利の調整が必要となります。 ・水質や水温の管理が必要となります。(地下水との比較)

③ 整備内容

項目	内容
見せるための方策	・開渠化の促進が必要となります。(道路交通網整備) ・水を感じられる工夫が必要となります。 ・下水道整備促進による背割り水路等の水質改善が必要となります。 ・「大野市街なみ環境整備事業」などと整合を図っていく必要があります。
ゴミ捨て	・ゴミ捨て等マナーの向上が必要となります。
水害対策	・具体化にあたっては、水害・克雪対策などと整合を図っていく必要があります。

④ 各種支援策の活用

項目	内容
各種支援策の活用	・国などの補助制度等を活用を図る必要があります。

⑤ 活用促進

項目	内容
水の文化	・文化の発掘と伝承を図っていく必要があります。 ・地域学習への活用を図っていく必要があります。
産業振興	・食品産業等水に関わる産業の振興へつなげていく必要があります。 ・観光面への活用を図っていく必要があります。

Ⅲ 実現のために

- 1. 地域住民と市の協働体制の確立
- 2. 水のみえるまちづくり基金の創設
- 3. ソフト施策の展開

1. 地域住民と市の協働体制の確立

- 水のみえるまちづくりは、「水」を核とした文化運動であり、活動の中心は市民です。
- 地域のまちづくりと市が協働することにより、「水のみえるまちづくり」を実現することが可能と考えられます。
- この計画を基に市民と協力し実現を目指します。

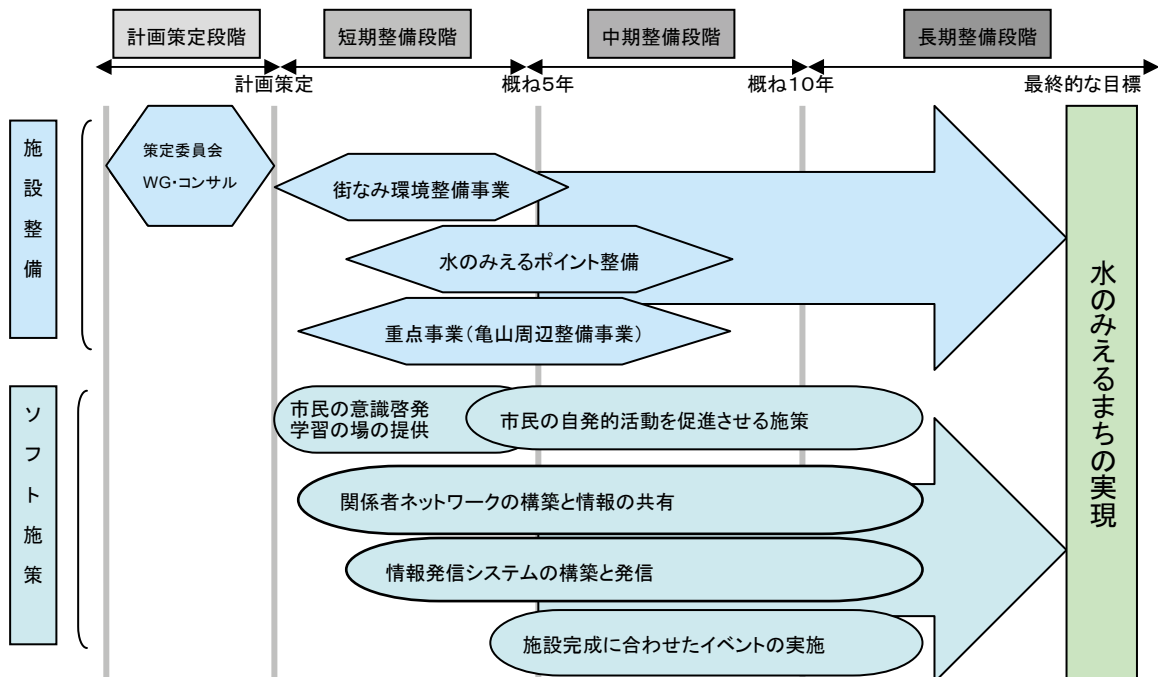
2. 水のみえるまちづくり基金の創設

「水のみえるまちづくり」を推進するための制度として、地域活動団体の支援を行う基金制度の制定が考えられます。

3. ソフト施策の展開


- 施設整備にあわせ市民意識の啓発及び自発的活動の促進のためのソフト施策を展開していく必要があります。
- 市民の意識啓発から市民の自発的活動促進へつなげていく取り組みが必要となります。
- 施策の柱
 - ①関係者のネットワーク構築
 - ②情報発信システムの構築
 - ③施設完成に合わせたイベントの実施

水のみえるまちづくり計画（施設整備）の進行に合わせたソフト施策の展開イメージ



★将来的には、市民・民間団体ベースの活動を展開します。行政は活動のきっかけをつくります。

★実施する段階は目安であるため、前後します。



資料編

■ 計画策定経過	22
■ 市街地水利機構図	24
■ 市民アンケート結果の概要	25
■ 市民意見募集結果の概要	32

■計画策定経過

平成16年度

基礎調査・研究
(ワーキンググループ)

資料収集
市街地の水利機構調査

平成17年度

中間整理

アンケートの実施

H17. 5. 16~H17. 6. 15

計画策定委員会

計画素案

市民意見聴取

H17. 12. 12~H18. 1. 10

計画案の修正

計画案の確定

計画の策定

平成18年度から

計画を順次実施

大野市水のみえるまちづくり計画策定委員会委員名簿

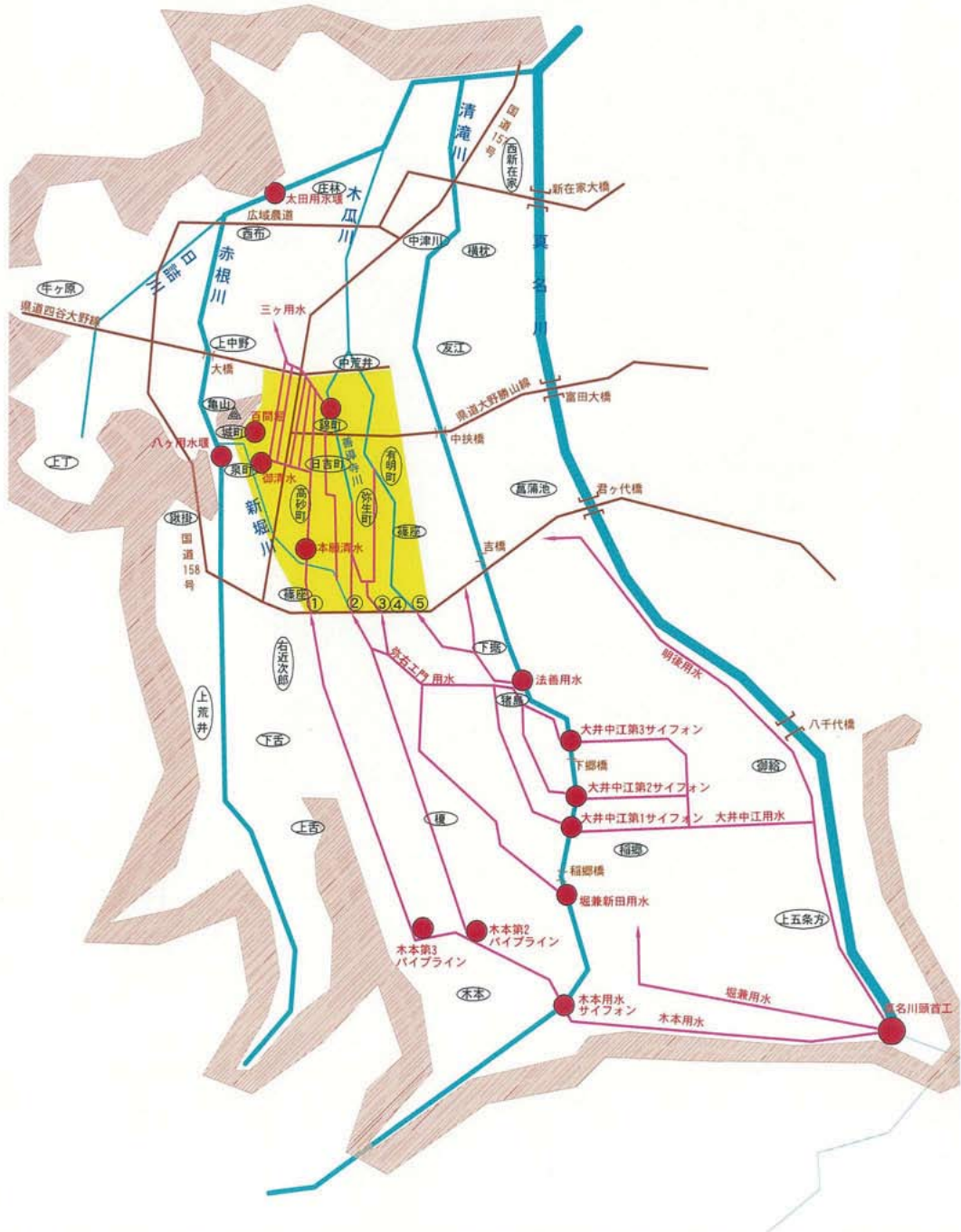
氏名	所属・職名
野嶋慎二(委員長)	福井大学教授
寺島藤雄	大野市議会議員
川田光男	真名川土地改良区連合事務局長
山本弘行	校長会(有終南小学校校長)
米村武	大野市区長連合会理事
土本英二(副委員長)	大野商工会議所副会頭
清水宣行	(社)大野青年会議所委員長
中村利章	(社)大野市観光協会会長
山内政信	大野市商店街振興組合連合会副理事長
中村甚一	国土交通省九頭竜川ダム統合管理事務所長
渡辺一夫	福井県奥越農林総合事務所長
本家秀幸	福井県大野土木事務所長
中村和男	大野市消防本部警防課長
広瀬広一	大野市建設部長
前田善一	一般公募

(順不同、敬称略)

大野市水のみえるまちづくり計画策定委員会経過

年月日	会議名	主な内容
平成17年 6月29日	第1回委員会	計画趣旨説明、市街地の水利機構の概要
平成17年 7月27日	第1回幹事会	市民アンケート結果、計画素案の概要
平成17年 8月12日	第2回委員会	市民アンケート結果、計画素案の概要
平成17年10月12日	第3回委員会	水源・導水計画について
平成17年11月 9日	第2回幹事会	計画素案の確認
平成17年11月22日	第4回委員会	市民公開の計画素案の確認
平成17年12月12日 ～平成18年1月10日	市民意見募集	市民へ計画素案公開、意見募集
平成18年 1月25日	第3回幹事会	市民意見整理、計画素案修正
平成18年 2月 9日	第5回委員会	市民意見整理、計画素案修正計画案策定
平成18年 3月		計画策定

■市街地水利機構図



■市民アンケート結果の概要

【市民アンケートの実施について】

- ・ 対象 大野地区 約5,200戸へ調査票を配布、並びに大野市ホームページ掲載により調査を行いました。
- ・ 調査期間 平成17年5月16日～平成17年6月15日
- ・ 設問の主な内容
 1. 水のまちの認識について
 2. 整備ポイントについて
 3. 整備方法について
 4. 協力の意志について

【市民アンケートの結果について】

・サンプル数合計(H17.6.15現在)

回収方法	件数(件)
調査用紙配布(大野地区)	1,389
ホームページ	6
合計	1,395

・回収率(大野地区5,207戸配布の回収率)

配布及び回収数	戸数
調査用紙配布数(大野地区)	5,207戸
回収数	1,389戸
回収率	26.7%

・性別内訳

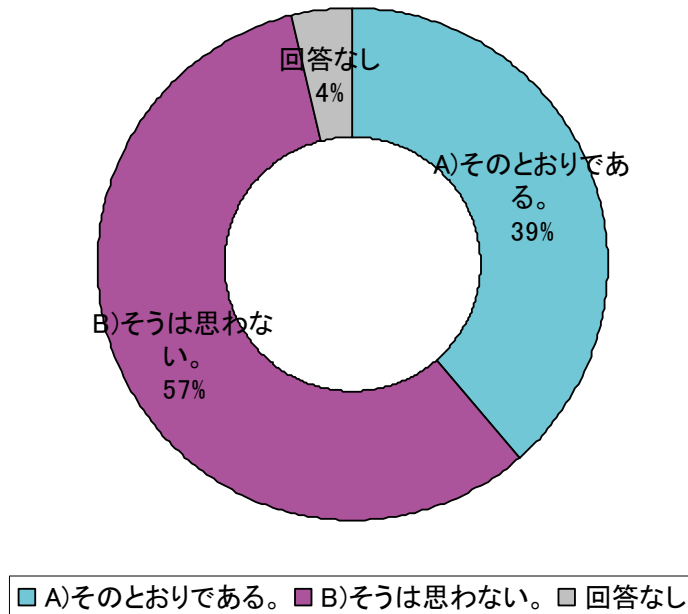
性別	サンプル数(件)
男	762
女	583
記入なし	50
合計	1395

・年齢別内訳

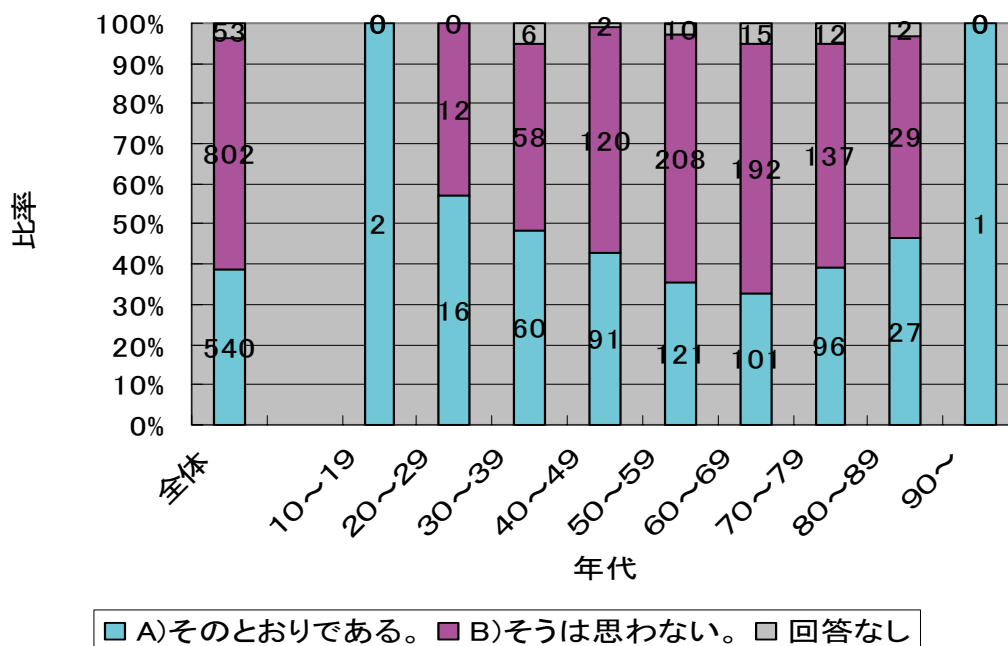
年齢(才)	サンプル数(件)
0～9	0
10～19	2
20～29	28
30～39	124
40～49	213
50～59	339
60～69	308
70～79	245
80～89	58
90～	1
記入なし	77
合計	1,395

1. 水のまちの認識について

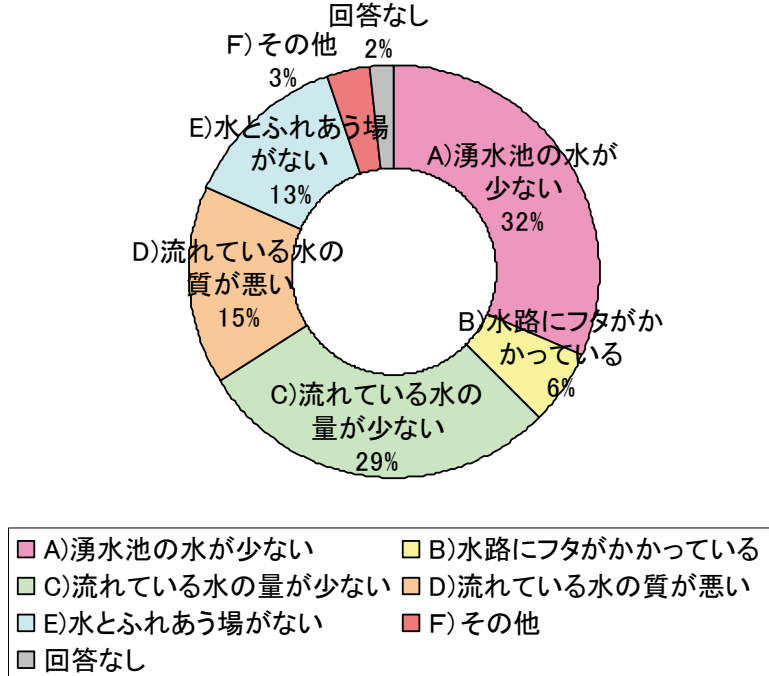
大野市は「水のまち」だと思いますか



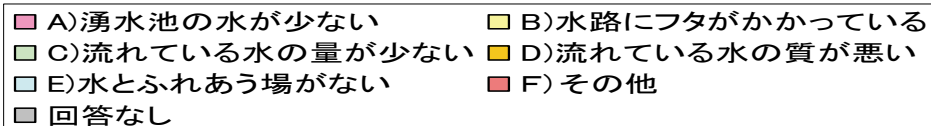
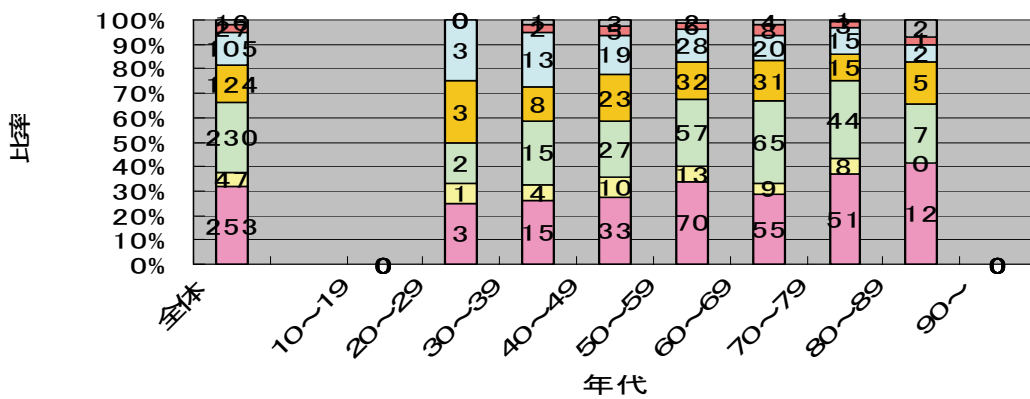
年代別「水のまち」意識調査



そうは思わない理由は何ですか



年代別 理由

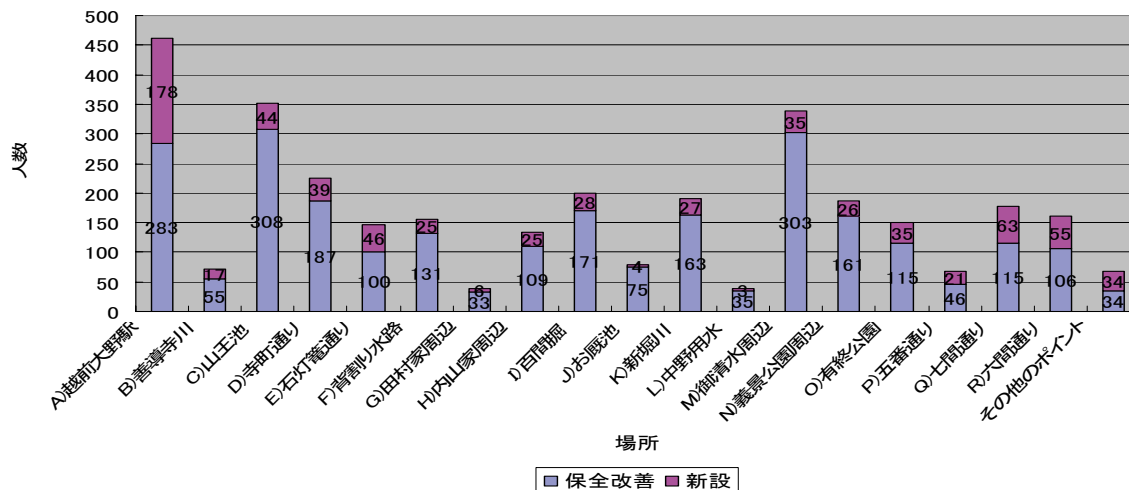


上記の F)その他の理由の主なもの

- ・地下水が少なくなっている。
- ・安全な生活水が飲めない。
- ・上下水道が完備されていない。
- ・昭和30年代の大野はそう思えた。
- ・生活しやすい水路の反面、地下に雨水が浸透して行かない

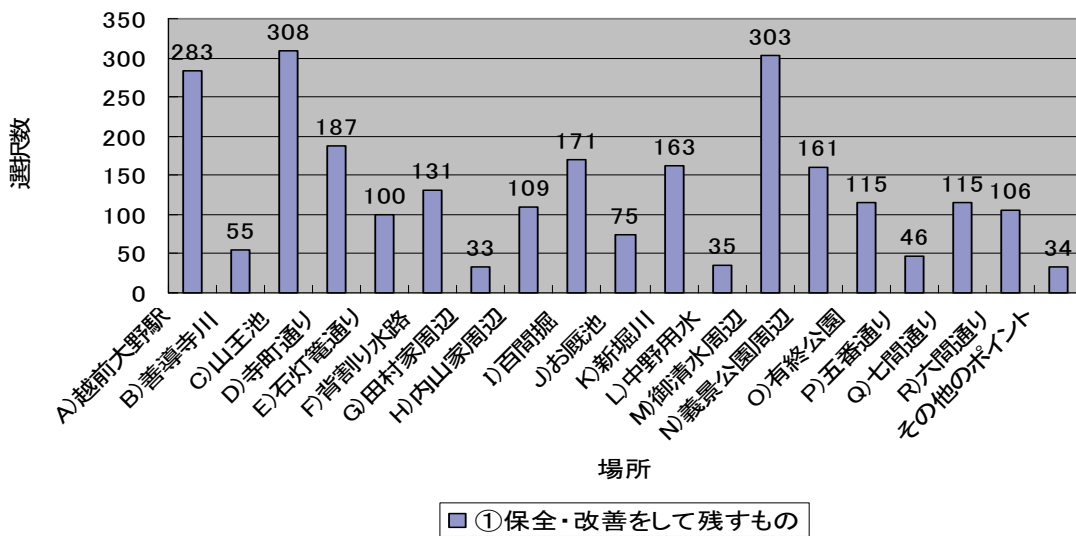
2. 整備ポイントについて

整備ポイント住民アンケート累計



①保全改善をして残すもの

①保全・改善をして残すもの

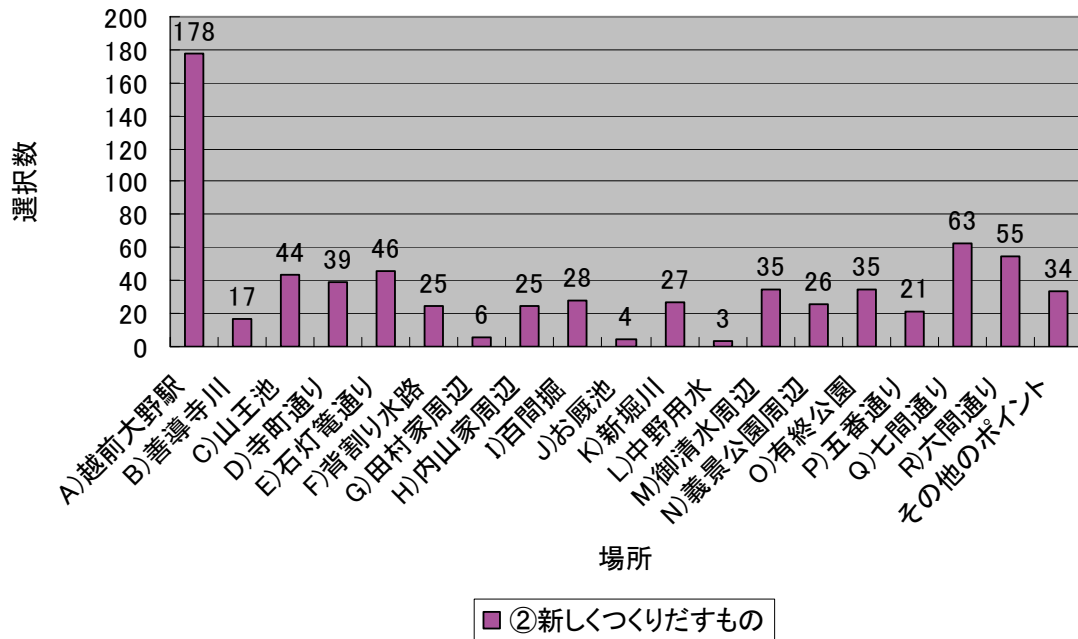


(保存・改善すべきもの 主なその他の意見)

- ・ 人の集まる場所
- ・ 市内全域の各河川・池
- ・ 市内の流雪溝
- ・ 草刈やそうじがたりない。
- ・ 30年前の全ての湧水池に豊かな水が有る様にする
- ・ 町内の川に水の流れる所、全然といっていいほど水が無い所があり、とにかく水を流す事が先決と思います。
- ・ ポイントを選択するというよりも今ある水路を少しでもきれいにする必要がある。お金をかけて整備しても仕方ない
- ・ 背割り水路住宅地の間を通る下水道なので整備するより払い下げて埋めてた方が良い。
- ・ 残す必要なし それよりも生活水の安全を守って欲しい。

②新しく作りだすもの

②新しく作りだすもの

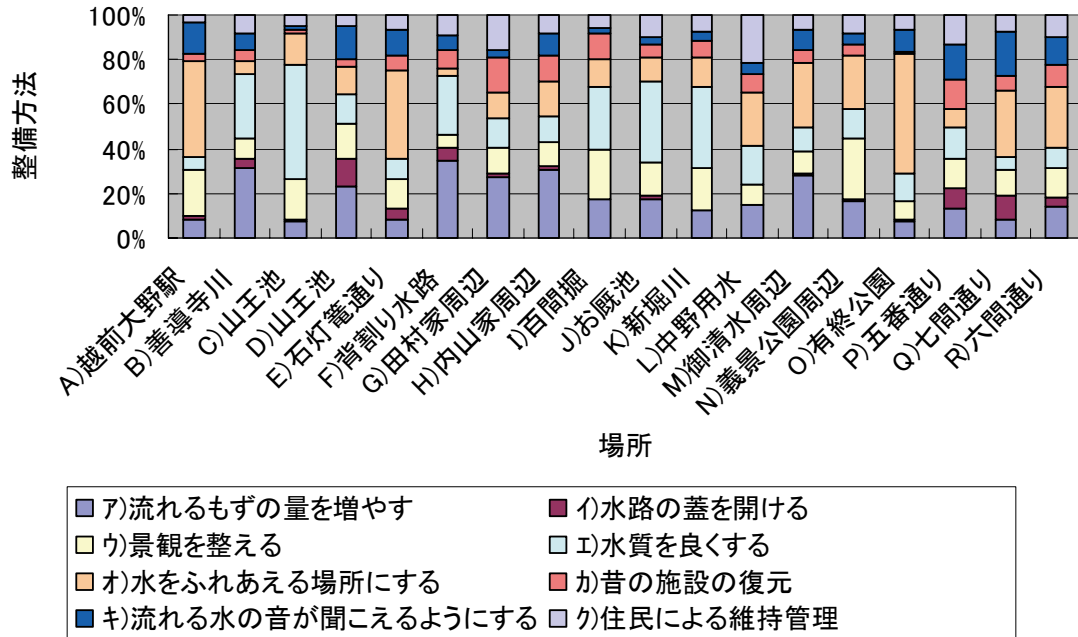


(新しく作りだすもの 主なその他の意見)

- ・エキサイト広場に噴水
- ・亀山周辺に水のふれあいの場
- ・赤根川の水量確保と植生復活、桜並木を作り亀山公園と一体化
- ・ヴィオ周辺に噴水
- ・平成大野屋中庭を整備
- ・シティ・ゲート中央に噴水のある池を作り、六間通りへ流す。片側だけでも(北側)
- ・裁判所泉水涌水庭園として公開する
- ・あったかランド周辺を景観整え、水と触れ合える場所にする。
- ・各公園で水と触れ合える場所に(住民による管理)
- ・新しく作り出すより、現存の所を修理する方が必要。
- ・水源不足の為、新設は無理と思われます。
- ・既存施設の活用

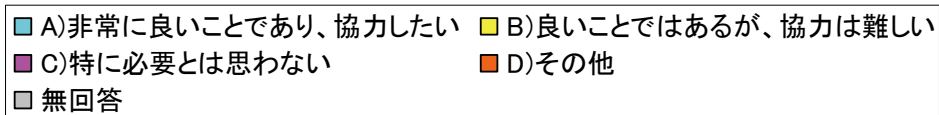
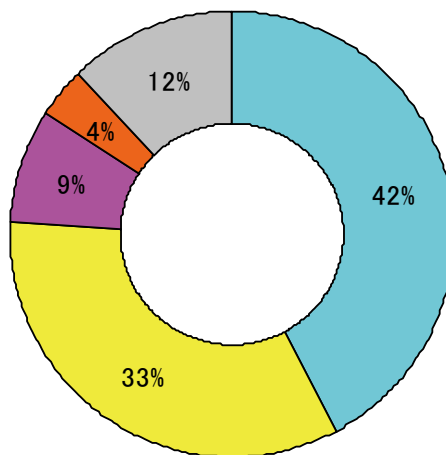
3. 整備方法について

①保全・改善のための整備方法

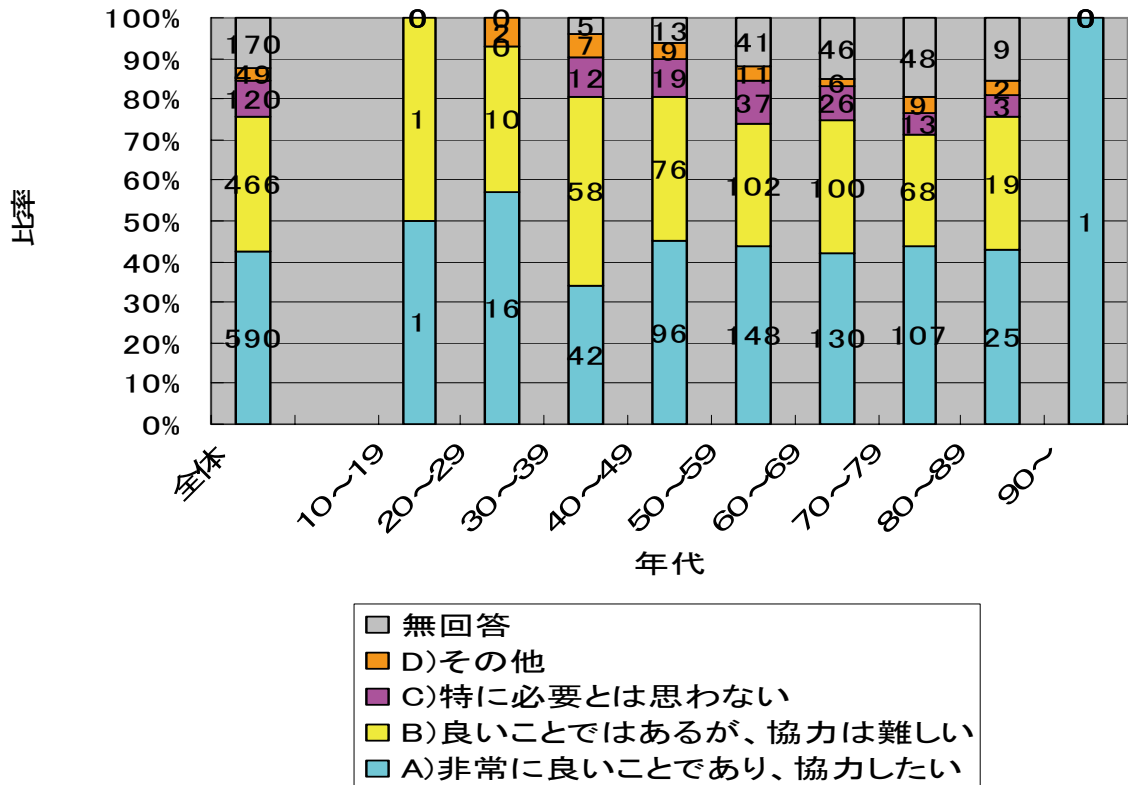


4. 協力の意志について

「水のみえるまちづくり」についてどう思いますか



年代別意識調査



(上記 D その他の主な意見)

- ・税金の無駄使いはやめて欲しい。
- ・ハードより、市民の意識教育が重要
- ・具体的にというとな難しい。
- ・雪国にはとても難しい。
- ・現状では難しく下水道が全戸普及後、行えばよい。
- ・名水をもっとPRして観光に来れる大野市にすること。
- ・融雪時の側溝の洪水対策のほうが生活には優先。
- ・生活用水の確保と品質保持の為の住民協力が優先。
- ・水質の改善及び水流の増量等(水利権の問題もあるが)住民の関心を高めることが大切

■「大野市水のみえるまちづくり計画(素案)」についての市民意見募集結果の概要

意見の募集期間	平成17年12月12日～平成18年1月10日
公開場所	市建設課、各公民館、市ホームページなど
意見募集の方法	投書、郵送、Fax、Eメールなど
受付数	4件

意見	ご意見の趣旨	ご意見への考え方
1	新堀川について、背割り水路に水を流す前に、地元住民の協力を得るためにも、短期から環境整備を行うべき。	新堀川については、短期段階より下流の堆積土砂の浚渫など環境整備の検討が必要と考えます。
2	災害を未然に防ぐという治水の観点からも検討してほしい。	今後の河川改修計画等で治水面も含め地元住民と十分に話し合いを行いながら進めていくことが重要と考えます。
3	計画は、あくまで市民が主体となり、地域管理可能な計画、市民が不便を感じても受け入れできる計画にとどめるべきであり、水を流すためにポンプアップなど費用をかけておこなうのはおかしい。	本計画では、現在ある水資源を有効に利用し、市民の理解と協働を図りながら、水のみえるまちの実現を目指します。 短期では、まず住民の方々に水を感じてもらい、計画について市民参加のきっかけづくりが必要と考えます。
4	水はその地区の財産でもあり新しい価値観を求めて市民の合意を得る必要がある。	計画の具体化で、地元の住民とのコンセンサスを得ながら進めることが必要と考えます。
5	水資源の確保がいまひとつ見えてこない。	本計画では、現況水資源の有効利用を図りながら進めていくこととし、長期の最終目標(将来像)は、水源の安定的確保を視野に入れた対策を行い、水のみえるまちの実現を目指したいと考えています。
6	水資源の安定確保のために短期に大きな水がめを数箇所設置し、潤沢に水を配水すべき。総合的に一挙に実現することが重要。10年は悠長すぎるのではないか。	安定した水量を確保するには、上流部の土地改良区や地域住民の協力が必要であり、長期的に新規の水利も視野に入れ、水量の確保ができた段階で、市街地の上流部に貯水池を設置するものと考えます。
7	貯水池には、梅花藻、糸魚、蓮など貯水池自体が水を楽しめる観光スポット(ビオトープ的)をつくとよい。	計画を具体化する段階で、検討することとします。
8	貯水池には、観光的要素を付加することによって管理的ランニングコストも創出するとよい。	計画を具体化する段階で、検討していきたいと考えます。

意見	ご意見の趣旨	ご意見への考え方
9	計画を進めるには、村部の住民の理解、協力も不可欠であり、市民アンケートは郡部でも実施すべきではないか。	ソフト施策の中で、広報等を行いながら協力を求めていくことが必要と考えます。
10	市民の意識啓発について、「多くの市民におおの「水」について学習できる機会の提供」を加えるべき。	ソフト施策の中で、「学習の場の提供」について検討する必要があると考えます。
11	計画の方針について、「各ゾーンを結ぶ散策ルートを整備する」を加えるべき。	計画の中で、検討する必要があると考えます。
12	越前大野駅を基点に善導寺川周辺までを散策できるように、善導寺川全体を舗装・橋・植栽・照明・護岸・洗い場など一体的に整備してはどうか。	計画を具体化する段階で、地元の住民と話を行い、コンセンサスを得ながら進めていきたいと考えています。
13	湧水池付近の水路、河川水からのポンプアップ、貯水池からのパイプラインによる配水などで、きれいな水源の確保について細心の注意をお願いしたい。	計画を具体化する段階で、十分工法を検討する必要があると考えます。 また、公共下水道等の普及促進に伴い周辺水路の水質も改善されることが期待されます。 また、ソフト施策も併せながら市民の意識の啓発も図る必要があると考えます。



大野市水のみえるまちづくり計画

平成 18 年 3 月 発行

編集・発行

大野市役所 建設課

〒912-8666 福井県大野市天神町 1-1

TEL 0779-66-1111 (代)